

# かべ新聞

第132号

2020年  
2月25日

JR東海労働組合  
新幹線地方本部  
東京車両所分会

## 3.14 ダイ改からの仕業検査作業マニュアル変更により SMT社員が車内に閉じ込められる!?

会社説明では、3月14日のダイヤ改正より、『仕業検査マニュアル』が変更されます。変更されると約5分間、SMT社員が車内に閉じ込められることが想定されます。

現行ではA担当は、1号車運転台モニタでのブレーキ状態等の検査が終了すると、ハンドルを抜き取り、B担当が下廻りの検査を終了し、16号車運転台に到着し、予備灯復位の連絡を待ってから、1号車運転台で標識灯の点灯状態を検査し、ドアを閉じて16号車運転台にハンドルを渡し、次の検査に向かいます。

しかし、ダイヤ改正以降A担当は、1号車運転台モニタ検査が終了すると、B担当の下廻り検査終了を待たずに、標識灯の点灯状態を検査し、ドアを閉じて次の検査に向かいます。1号車運転台でドアを閉じた時、16号車運転台のドアスイッチも閉じ状態となっていて、B担当が下廻り検査終了しドアを開けるまでは、車内に閉じ込められる状態になるのです。この時間が約5分です。

## SMTの作業が遅れる！車両入換えも遅れる！ 仕業検査も遅れる！き電停止にも間に合わない！

車内に閉じ込められたSMT社員は、約5分間、次の作業道具を取りに行くことができません。デッキにいる社員は中に入れません。このことにより、今までよりも作業が遅れることが想定出来ます。その影響で入換えも遅れます。より仕業検査も遅れることで、き電停止に間に合わない事態も発生します。

私たちは、会社の説明会で、「これでは車内に閉じ込められる！」と訴えてきましたが、会社の回答はまだです。

**大井基地で働く皆さん！**

**「仕業検査マニュアル変更反対」の声を上げよう！**